



## ゴディバ ショコラティエ / Godiva Chocolatier

ゴディバ・ショコラティエ（以下、ゴディバ）は、1926年にベルギーで創業し、現在ニューヨークに本社を置く、世界が認める高級チョコレートのトップ企業です。ゴディバの商品は、ベルギーはもとより、シンガポールやデンバー、ドバイまで世界80か国以上で販売されています。ゴディバは世界中で高い知名度を誇り、愛されているブランドです。ゴディバを代表する貝殻型のトリュフチョコレートをはじめ、ヨーロッパスタイルのビスケット、グルメコーヒーやホットココアに至るまで、ゴディバ・ショコラティエは80年以上にわたりベルギーの素晴らしい伝統を守り、さらなる革新を目指し尽力されています。

ゴディバは、高級ブランドを生まれ変わらせ、斬新で魅力的な数々の商品を投入し、新たなチャネル展開を進めて大成功を収めました。その結果、ゴディバの贅沢なチョコレートをより多くの消費者が手頃な価格で味わえるようになりました。

### 課題

ゴディバは、2007年にキャンベル・スーパーストックカンパニー（以下、キャンベル）から、世界最大手の著名な食品・飲料会社であるトルコのYildiz Holdingへ売却されました。売却後もしばらくの間、ゴディバは引き続きキャンベルの企業間B2Bデータ連携プラットフォームを利用していましたが、もちろんキャンベルのプラットフォームを利用し続けることは難しく、また多額の支払取消や違約金を避けるため、ゴディバは、早急にキャンベルの企業間B2Bデータ連携プラットフォーム運用から独立する必要がありました。

ゴディバのITチームは、現在のビジネス活動の中断を最小限に押さえた上で、画期的な新商品の投入と新たなグローバル市場やチャネルへの展開を含む、成長戦略に対応できる独自のB2Bシステムへ移行することを求められていました。

### ソリューション

ゴディバでは、企業間B2Bデータ連携運用全体の管理を信頼できる企業に委託することが最善策であるという結論に達しました。そうすることで、ゴディバは中核業務やその他の重要なビジネス施策に集中することが可能になります。キャンベルの傘下にあった14年以上の間、

ゴディバは OpenText™ Trading Grid™ Messaging Service (トレーディンググリッドメッセージングサービス)を使用し、世界中の取引先との基本的な企業間データ連携を行っていました。OpenText GXS サービスの利用は長期に渡り問題なく遂行されていたため、ゴディバでは、企業間 B2B データ連携クラウドサービスの OpenText Managed Services (マネージド サービス)へ移行することが、現在および将来のビジネスニーズを満たす最適な選択肢であると判断しました。さらに、データ同期には OpenText Active Catalog (カタログ)と 1SYNC Onboard Support (OBS)の両方を利用することも決定しました。これにより、主要な取引先との製品情報の交換、Order-to-Cash (受注から入金まで)プロセスの自動化が促進されます。OpenText GXS サービスの利用により、ゴディバの企業間 B2B データ連携に関わる運用管理では、次のような主要な効果が認められています。

#### ソリューションのハイライト

- 拡張性と専門知識によりビジネスの成長を加速
- 複雑性の低減と取引先接続支援の迅速化
- 多様でグローバルな取引先を柔軟にサポート
- 店頭までの商品出荷時間がより速くなり、売上増加を促進
- 「上流」サプライヤーの企業間 B2B データ連携効率向上

#### • 拡張性と専門知識によりビジネスの成長を加速

OpenText Managed Services により、ゴディバの世界中に広がるサプライチェーン内での中断をほぼゼロに抑え迅速に対応するというニーズを満たすことができました。また、拡張性が高く安全でグローバルな B2B データ連携インフラを、B2B データ連携専門の技術や要員にかかる多大な初期投資の負担なしで利用できるようになりました。OpenText Managed Services で対応しているデータフォーマット変換、ERP 統合、取引先代行接続支援、24 時間 365 日のグローバルサポート体制など、OpenText GXS の幅広く高度な企業間 B2B データ連携に専門知識を利用できるようになったため、ゴディバの IT 要員は、企業間 B2B データ連携に関わる運用管理から解放され、ビジネス成長のサポートに集中できるようになりました。

#### • 複雑性の低減と取引先接続支援の迅速化

最初のプロジェクトは、ゴディバのキャンベル傘下時代に使用していたデータフォーマットを新たに OpenText GXS フォーマットに移行することでした。この移行プロジェクトにより、顧客と取引先を円滑に且つ短期間で、新しい B2B 環境に移行することができました。ゴディバでは、ビジネスのグローバル展開が進んでいるため、中核となるデータフォーマットの標準化は、今後のビジネスにとってもメリットとなります。新規取引先の立ち上げ期間は短縮され、全体的に複雑だった B2B 環境は大幅に簡素化されました。ゴディバの EDI プロジェクトマネージャーであるスー・フィリップス (Sue Phillips) 氏は次のように述べています。「実際に始めてみると、このプロジェクトには超人的努力が必要であることが分かりました。10 月から 12 月の 3 か月間はゴディバにとって繁忙期ですが、サプライチェーンに大きな中断もなく、OpenText GXS はこの移行プロジェクトをやり遂げてくれました。」

#### • 多様でグローバルな取引先を柔軟にサポート

現在、OpenText Managed Services は、ゴディバの顧客、取引先、ブローカー、流通業者、倉庫、カタログ、通信業者など、世界中の 100 社以上の取引先から成る非常に多様で複雑な企業間 B2B データ連携ネットワークをサポートしています。ゴディバはベルギーと米国に製造工場を持ち、米国、カナダ、ヨーロッパ、アジア全域に 450 か所以上の直営小売店と取扱店を展開、さらに 10,000 店以上の高級デパートと専門店でもゴディバ製品を販売しています。米国では 1 年に 6 回メールオーダーカタログを発行し、電話とネットでも注文を受けています。

#### • 店頭までの商品出荷時間がより速くなり、売上増加を促進

ゴディバの売上の 60%以上は、限定商品と季節商品によるものです。OpenText Active Catalog と 1SYNC OBS により、ゴディバでは季節ごとに作成される数百もの商品の SKU を世界中の小売業者と電子的に同期できるようになりました。多様な商品ラインの商品情報を正確かつタイムリーに伝達でき、店頭までの商品出荷時間がより速くなり、年間売上の増加を促進しています。

### ■「上流」サプライヤの企業間 B2B データ連携効率向上

OpenText Intelligent Web Forms (IWF: インテリジェントウェブフォームズ) の利用により、ゴディバと上流サプライヤコミュニティとの企業間 B2B データ連携の効率がさらに向上しました。IWF でゴディバのビジネスプロセス固有の Web フォームをサポートしたことで、高度な企業間 B2B データ連携技術を持たない取引先でも電子的にゴディバと文書を交換できるようになりました。「今回、梱包と製品出荷に関する情報をやりとりする取引先にとって、IWF は EDI よりもコスト効果が高く、はるかに処理が迅速であることが分かりました」(フィリップス氏)。

ゴディバでは、OpenText Managed Services、IWF、OpenText Active Catalog、1SYNC OBS を利用することにより、世界中の主要な経済地域をカバーする拡張性の高い企業間 B2B データ連携統合プラットフォーム上でビジネス目標の達成に集中できる環境が整いました。OpenText Managed Services は、企業の様々な状況の中でも業務の継続性を確実にし、今後もビジネスのスピーディな成功に役立つ包括的なビジネスフレームワークを提供していきます。

## 利点

OpenText Managed Services を利用したことで、ゴディバではグローバルな企業間 B2B データ連携および EDI 機能が大幅に向上しました。ここでいくつかその利点をご紹介します。

- データフォーマット変換、ERP 統合、取引先接続支援など、幅広く高度な企業間 B2B データ連携に関する専門知識をすぐに利用可能に
- 拡張性が高く安全でグローバルな企業間 B2B データ連携のネットワークインフラを、B2B データ連携の専門技術や要員にかかる多大な初期投資や継続的費用の負担なしで利用可能に
- 新規の取引先接続支援により、取引先の立ち上げが迅速に対応可能に
- 高い柔軟性により、場所、規模、技術的スキルに関係なく多様なサプライチェーンコミュニティにサービスの提供が可能に
- 最新の技術標準および通信プロトコル要件に対応
- より正確でタイムリーなコミュニケーションの向上により、店頭出荷までの時間がより迅速に

OpenText Managed Services 環境の高い柔軟性により、ゴディバは場所、規模、技術的スキルに関係なく、多様なサプライチェーンコミュニティにサービスを提供できるようになりました。また最新の技術標準と、米国大手百貨店のメーシーズ (Macy's)、最近では米国大手ディスカウント百貨店のターゲット (Target) など、一部大手顧客の通信プロトコル要件にも対応できるようになりました。

過去 3 年間で、ゴディバの小売チャネルにおける取引先数は 2 倍になりました。これは以前のシステムを超えています。事実、企業間 B2B データ連携の専門チームと OpenText™ Managed Services で設定したプロセスなしでは、これほど多くの取引先を所定のスケジュールで立ち上げることは出来なかったでしょう。

— ゴディバ  
EDI プロジェクトマネージャ  
スー・フィリップス  
(Sue Phillips) 氏

### GXSについて

OpenText Corporationの100%子会社であるGXSは、世界最大の統合クラウド、OpenText™ Trading Grid® を運用する、B2Bデータ連携・統合サービスのリーディングプロバイダーです。新たにOpenTextグループの一員となり、OpenText Information Exchange Suiteの一翼として、取引をスピードアップする製品の包括的な統合スイートを提供します。このスイートは、セキュアなメール、大規模なファイル転送、ファックス、EDI、通知などのメッセージングおよびB2Bデータ連携・統合サービスのすべてを1つのプラットフォームに統合し、多対多の取引を実現します。クラウド、オンプレミスのいずれにおいても、Information Exchange Suiteを使用することで、企業は情報のデリバリーを迅速化・制御し、機密性や複雑性の高いコミュニケーションのセキュリティと信頼性を強化できます。詳しくは、<http://www.opentext.com>をご覧ください。Twitter (<http://twitter.com/opentext>)、LinkedIn (<http://www.linkedin.com/company/opentext>) でもさまざまな情報(英語のみ)を提供しています。

### GXS 株式会社

東京本社 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-3 丸の内トラストタワー本館 18F  
TEL : 03-4560-6900 FAX : 03-4560-7898

名古屋オフィス / 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 3-2-3 日興証券ビル 4F  
TEL : 052-269-8482 FAX : 052-269-8484

大阪オフィス / 〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 2-3-13 大阪国際ビル 31F  
TEL : 06-7711-3760 FAX : 06-4964-2046